

No. 691

企業 zoom up EVC

映像システムに特化した システムインテグレーター

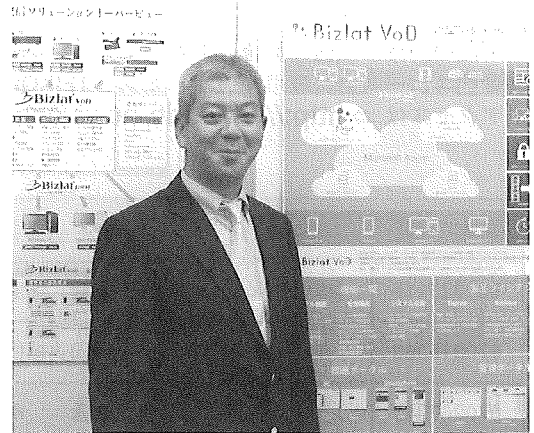
ここ数年で、YouTubeやテレビ・映画のオンデマンド放送、学習塾のライブ講義など、映像を使った動画配信サービスが急速に普及している。こうした映像配信システムは、エンタメ分野のみならず、企業向けに技術やサービスの伝承に用いられるようになってきている。

(株) EVCは、国内で屈指の映像配信システム業者として知名度が高く、業界内からも注目されている。当社は、高い映像技術を有する人材を揃え、大手のシステム会社で対応の難しい映像に特化したシステムやパッケージソフトの開発を手がけている。

システムインテグレーション事業では、自社開発の映像管理・配信システム「Bizlat (ビズラット)」(導入価格140万円～)と著作権保護管理システムを展開している。主力の「Bizlat」は、様々なファイル形式の映像コンテンツをあらゆるデバイスに配信可能なシステムで、顧客ニーズに合わせて、既存のシステムとの連携やカスタマイズ開発による独自機能も追加することができる。この映像配信技術は、中小・大手における製造業の技術伝承や、サービス業におけるFC店舗の挨拶・コミュニケーション方法の共有のための社内PCのネットワーク動画で活用されている。この映像システムは多くの企業で導入されているほか、国公立の50以上の大学や空港のサイネージなどに利用されている。

特に、高齢化や技術者不足などの問題を抱える製造業では、特殊な技術をスマートフォンやビデオで撮影し、社内ポータルシステムで伝承ツールとして活用することができる。言葉で伝えるのが難しい技術を動画で見せることで言葉の壁を取り除き、理解度が高まるようだ。また、多くのFC店や社員を抱える企業では、映像をDVDにして各自へ

「映像配信システムの企画から構築までワンストップでお応えします」と語る國分社長



送付するとコストがかかる。しかし、オンラインで映像を配信することで、コストの大幅削減だけでなく、個別に動画を閲覧した履歴が集中管理できるメリットもある。

「映像配信システムは、コンピューターの知識と放送系の知識を持ち合わせていないと出来ません。当社は両方の高度な技術を有し、カメラ、PC、スマートフォンまでマルチなデバイスに対応した映像システムの設計からサポートまでを一貫して技術提供できることが強み」と話す國分社長。少数精鋭のベンチャー企業ながら、クラウドプラットフォーム分野で豊富な実績、高度な専門性、高い技術力が認められ、日本マイクロソフト(株)よりマイクロソフトパートナーとして最高レベルの「Goldコンピテンシー」を取得している。

今後は、マルチデバイス対応の映像配信システム「Bizlat」のクラウド型サービス事業のシェア拡大に注力していく。これからも中小・大手企業のクライアントが収益を上げられる映像システムを提供し、業界のリーディングカンパニーとして第一線を走り続けるだろう。

(取材・文/東京支社情報部 田中 祐実)

会社概要

(株) EVC

企業コード：987465559

東京都千代田区神田和泉町1-1-7 東陽ビル4階

電話03-5687-5841

國分秀樹社長

設立：2003年4月、資本金：3000万円

事業内容：動画・音声・データ等を活用したシステム開発、システムインテグレーション事業

年売上高：約2億9000万円(2015年1月期)

従業員：17名

<http://www.evc.jp/>